

2009年12月22日

新宿駅アルプス広場の電照シート広告で 双方向コミュニケーション型映像広告を展開！！

- 12月22日より、新宿駅東口改札内アルプス広場の電照シート広告で、駅利用者が広告に参加可能な双方向コミュニケーション型の映像広告を初めて展開します。(別紙 イメージ画像参照)
- 全て意匠が異なる電照シート広告を10面掲出し、そのうち1面で映像広告を実施します。
- 広告主は日本中央競馬会(JRA)で、広告内容は12月27日(日)に開催される有馬記念の告知です。
- 映像は投影式で、1枠から8枠までの番号にまつわる今年のニュースを振り返り、合わせて広告の正面に立つ人の顔を認識し、広告画面内に反映します。
- 同時に山手線車体広告(4編成)、トレインチャンネル、中づりも展開し、有馬記念の開催を広く告知を行います。

◆ 展開概要 ◆

1. 広告内容：日本中央競馬会(JRA)「有馬記念」開催告知
2. 展開期間：2009年12月22日(火)～12月27日(日) 6日間
3. 展開場所：新宿駅東口改札内 アルプス広場(電照シート広告10面中1面で映像広告を展開)
4. 展開写真：



アルプス広場電照シート広告



映像を投影した電照シート広告面

◆日本中央競馬会(JRA) 双方向コミュニケーション型映像広告の展開◆

新宿アルプス広場電照シート広告の映像広告面



↓ラッキーナンバーがクローズ UP されます



↓各ニュースに立ち止まった人の顔が合成されます



※画像はイメージです